

# 平成29年度推薦入学試験問題

金沢美術工芸大学

学科専攻名	第2次選考
<b>芸術学専攻</b>	<p><b>小論文A</b></p> <p>次に掲げる文書は、『心』（一九五九年十一月）に掲載された鈴木大拙（一八七〇—一九六六）著「東西雑感」の抜粋です。これを読んで、内容を二百字程度に要約しなさい。また、筆者の主張に対し、自分の意見を四百字程度で述べなさい。</p> <p><b>小論文B</b></p> <p>配布された作品の図版を見て、何がどのように描かれているかに留意しながら、800字程度で解説しなさい。</p> <p>図版：ヨハネス・フェルメール 「絵画芸術」 1666～1668年頃 ウィーン美術史美術館</p>
<b>視覚デザイン専攻</b>	<p><b>実技試験</b></p> <p>「パラリンピック」をテーマに画面を構成してください。</p>
<b>製品デザイン専攻</b>	<p><b>実技試験</b></p> <p>家庭で使用する踏み台をデザインしなさい。</p>
<b>環境デザイン専攻</b>	<p><b>実技試験</b></p> <p>配布された素材で、図の立体A（七面体1個）と平面B（1枚以上）を作りなさい。その後、立体C（球体1個）と併せて台紙（ゴールデンボード）に配置し画用紙に鉛筆でデッサンしなさい。</p>
<b>工芸科</b>	<p><b>実技試験</b></p> <p>与えられた和紙と南瓜をモチーフとして「重さ」をテーマに粘土を用いて立体表現しなさい。</p>

※ 第1次選考は書類審査です。

平成29年度  
金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻  
推薦入学 試験問題 小論文B

配布された作品の図版を見て、何がどのように描かれているかに留意しながら、  
800字程度で解説しなさい。〔解答は別紙〕

作品名： 絵画芸術  
作者： ヨハネス・フェルメール  
制作年代： 1666～1668年頃  
技法： キャンヴァスに油彩  
大きさ： 縦120cm、横100cm  
所蔵： ウィーン美術史美術館

受験番号	
------	--

平成 29 年度  
金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
デザイン科 視覚デザイン専攻  
推薦入試 第二次選考問題（実技試験）

## 【問題】

「パラリンピック」をテーマに  
画面を構成してください。

## 【条件】

- ・別紙に制作意図を記入してください。
- ・与えられた用紙（B4 ボード）全面を使用してください。  
縦横は自由とします。
- ・与えられた画材で着色してください。
- ・与えられた下書き用紙にアイデアを何パターンか展開し、  
すべて作品に添えて提出してください。

## 【注意】

- ・色見本帳の使用は禁止します。
- ・持参した絵具の使用は禁止します。
- ・試験問題に関する質問は認めません。
- ・問題用紙、下書き用紙は試験終了後、すべて回収します。

以上

# 平成 29 年度推薦入試 実技試験

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 デザイン科 製品デザイン専攻

## ■問題

### 家庭で使用する踏み台をデザインしなさい

#### ■デザインの条件

- 1、使用者や使用目的、使用場所などを想定すること
- 2、「乗る」「座る」「持ち運ぶ」「非使用時」などの状況を考察すること
- 3、造形・素材・色彩は自由に考えること

#### ■提出物

- 1、最終提案の着彩スケッチ：B3用紙1枚
  - ・提案するデザイン1点をわかりやすく精密に描くこと
- 2、使用方法説明図：A3用紙1枚
  - ・デザインポイントや使い方をイラストや文章で簡潔に表現すること
- 3、寸法図：A3用紙1枚
  - ・寸法図及び素材や色彩などについて記載しなさい
- 4、アイデアスケッチ：A3用紙2枚
  - ・異なるアイデアや形、機能などを表現しなさい

以上をレイアウト図を参照し、スチレンボードにレイアウトしなさい

#### ■注意

- 提示したサンプルは参考とし、とらわれなくてよい
- サンプルは自分の席に持ち帰ってはいけない
- この問題用紙も提出すること

平成 29 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部

デザイン科 環境デザイン専攻

推薦入試 第二次選考問題

【問題】

配布された素材で、図の立体 A（七面体 1 個）と  
平面 B（1 枚以上）を作りなさい。

その後、立体 C（球体 1 個）と併せて台紙（ゴールデンボード）に  
配置し画用紙に鉛筆でデッサンしなさい。

【条件】

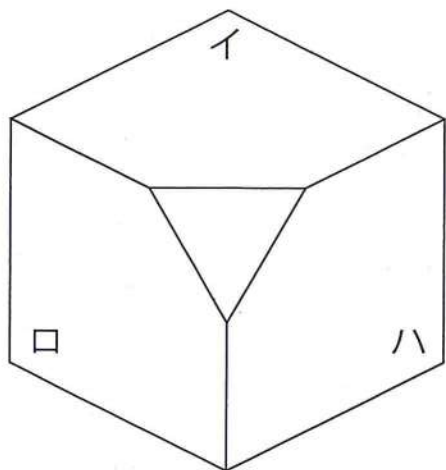
- ・すべてフリーハンドで、描きなさい。
- ・立体、平面の配色は、配布された素材で自由に設定してよい。
- ・立体、平面は、接着して固定しなさい。

【注意】

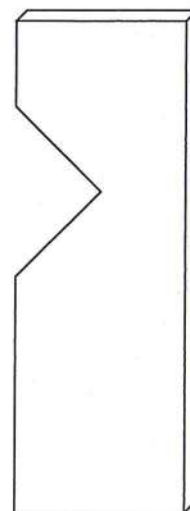
- ・問題に関する質問には、答えられない。
- ・デッサンは、受験番号を書く欄を裏側とし、表側に描きなさい。
- ・この用紙を試験会場から持ち出すことを禁止する。  
また、試験終了後に回収します。
- ・制作により出たゴミは、所定の場所に捨てなさい。



## ■イメージ図



一辺 80 mm の立方体から  
底面一辺 40 mm の三角錐が欠けている状態の七面体



### 立体 A

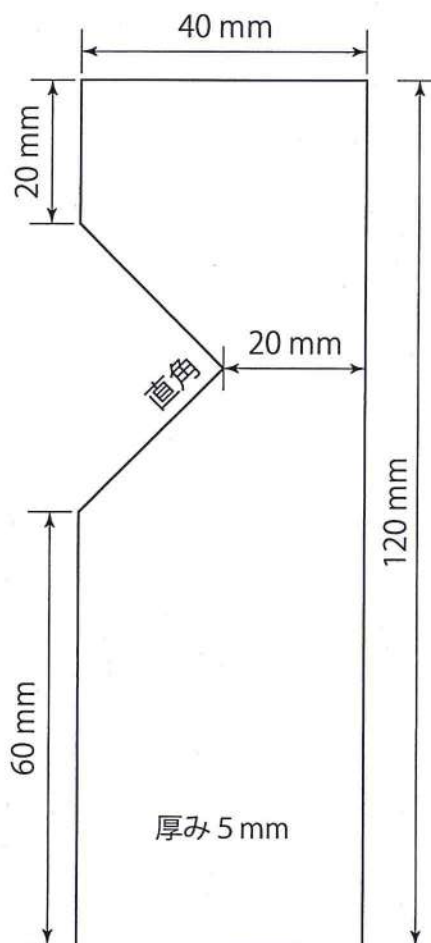
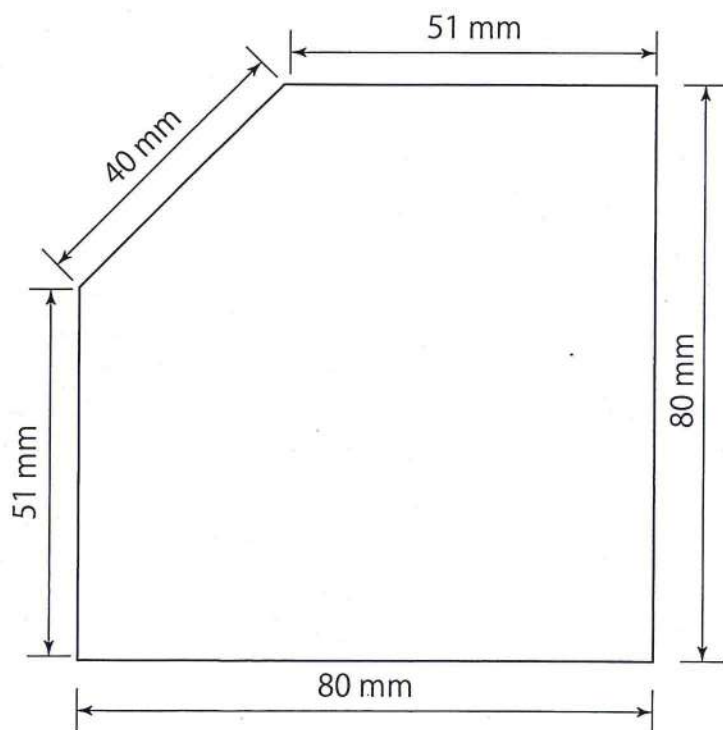
工作用紙：厚口

### 平面 B

カラスチレンボード：厚み 5 mm

## ■寸法

面イ・ロ・ハの寸法



平成29年度

金沢美術工芸大学 工芸科 推薦入試

実技試験（立体表現）

平成28年11月12日(土曜日)

午前8時30分～12時30分

### 問題

与えられた和紙と南瓜をモチーフとして「重さ」をテーマに

粘土を用いて立体表現しなさい。

- 条件1. モチーフの制作個数は自由とする。
2. モチーフの和紙は折る、ちぎる、曲げる等、自由に加工を施す事。
  3. モチーフの南瓜は加工しない事。
  4. 解答作品は塑像板から高さ30cm以内とする。
  5. 解答作品は塑像板からはみ出さない事。
  6. 与えられた粘土は、全部使わなくても良い。
- 注意1. 用具は募集要項に指定された持参用具と机上のもの以外使用してはならない。
2. 与えられたヘラは加工してはいけない。
  3. 与えられたカッターは鉛筆削り以外の使用をしてはならない。
  4. 粘土の中に異物を入れてはいけない。
  5. 持参用具以外は持ち帰らない事。

モチーフ 和紙2枚 南瓜1個

配布用具 水粘土10Kg、塑像板、粘土ヘラ、霧吹き、鉛筆3本、消しゴム、カッターマット、カッターナイフ、雑巾2枚、エスキース用紙5枚